

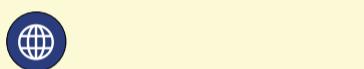


モダニストガイド

IT'S
KAUNASTIC

詳細情報

書籍、ディレクトリ、ウェブページ、ツアー、ショーやスマートフォンアプリなど様々な形で、毎月カウナス近代建築の遺産が再発見されています。そうした発見は多ければ多いほど、カウナスの住民にとっても、旅行者にとってもプラスになるはずです。以下は私たちのお気に入りです：



MODERNIZMASATECIAI.LT
建築・都市研究センター AUTC.LT



カウナス ユネスコデザイン都市

欧州遺産ラベル

"KAUNAS MODERNISM"

"EKSURSAS"

観光情報



"KAUNAS IN"
Rotušės a. 15, Kaunas | +370 616 50991
info@kaunasin.lt | visit kaunas.lt
#kaunastic #visitkaunas #kaunas2022



OPTIMIZMO ARCHITEKTŪRA
(オプティミズム・アーキテクチャー)
KAUNAS 1918-2015. 建築ガイド
STOP JUOSTA (THE BARRICADE TAPE)



アプリ "KAUNAS OF 1919-1940"

カウナスの通り

カウナス市が持つ豊かな財産の全てを小さな一つの地図の中に収めることはできないでしょう。ここには1919年から1940年にかけて建てられた1万2000戸もの建造物があります。まずは、戦間期に各国からの大使や駐在員らが暮らしたブトヴィンスキス通り、そしてドネライティス通り、ケストゥーティス通り、マイロニス通り、ミケヴィチス通りを歩いてみてください。次に、ラミーベ公園のそばのトラカイ通りとブーガ通りを散策してみましょう。階段でラディアス地区まで上ったら、ヴァイジュガニタス通り、フリーカス通り、そしてペルクナス大通りがあります。カウナス郡立図書館やレリヤイ通り、ラダスティ通り、トルビス通りにある木造の住宅建築群に迷い込んでみるのもいいでしょう。

欧州遺産ラベルの付いた建物のうちいくつかは無人だったり状態が良くないということにお気づきかもしれません。その場合は中にお入りいただけませんが、代わりに新しく塗りなおされたファサード（建物の正面部分）をお楽しみいただけます。多様性溢れるカウナス。この都市が持つその様々な顔のすべてを知らずして街歩きはできません。

楽しいカウナスめぐりを！

- ■ ■ V. Putvinskio g.
- ■ ■ K. Donelaičio g.
- ■ ■ Kestutio g.
- ■ ■ Maironio g.
- ■ ■ A. Mickevičiaus g.
- ■ ■ Vaižganto g. / Fryko g. / Perkūno al.
- ■ ■ Trakų g. / Būgos g.
- ■ ■ Radastų / Tulpių / Lelijų 街区



建築家たち

一時的な首都となったカウナスは首都として都市を「建設」せねばなりませんでした。国外で学んでいたリトアニア人や外国人をカウナスへ招き集め、この仕事にとりかからせました。イタリア、ドイツ、フランス、ロシア各の学府で得られた知識が一つとなり、すぐに何百、何千もの新たな建築を生み出し、当時他国で盛んだった建築をカウナスのモダニズムへと融合させたのです。カウナスを造り上げた全ての建築家たちに触れるることはできませんが、興味を持った皆様が独自に研究を続けてくださることを期待しています！

フェリクサス・ヴィズバラス 1880~1966年

リガで学び、1918年までウクライナで活躍したこの建築家の軌跡は、カウナスの多くの近代建築の傑作と、アンタヌス・スマートナ邸宅で完成します。ヴィズバラスはカウナスとシュエントピ港の建設も指揮した人物です。1940年、リトアニアカトリック連合アティイティス(Ateitis)のメンバーだった彼はドイツへ移住しました。



ヴラディミラス・ドゥベネツキス 1888~1932年

彼はリトアニア現代建築の先駆者の一人で、民族的様式の提唱者でもありました。ドゥベネツキスはロシアでリトアニア移民一家の元に生まれました。ベテルブルク芸術学院で建築を学んだ後、1919年にリトアニアへ移り住みました。建築家であり、舞台美術家であった彼は、リトアニア芸術協会及びリトアニア工技・建築家組合を創設したメンバーの一員でした。ドゥベネツキスが亡くなった際は、町全体で彼を弔おうとヴィータウタス通りに行列ができました。



エドムンダス・アルフォンサンサ ・フリーカス 1876~1944年

サンクトペテルブルク市民大学の建築学部を卒業したラトビア人、レイソナはエンジニアとしてカウナスで働き、建設部門長まで勤め上げましたが、彼にリトアニアの市民権が与えられたのは1932年になってからのことでした。ちなみに、レイソナは復活教会を設計している時にカトリックへ改宗しました。



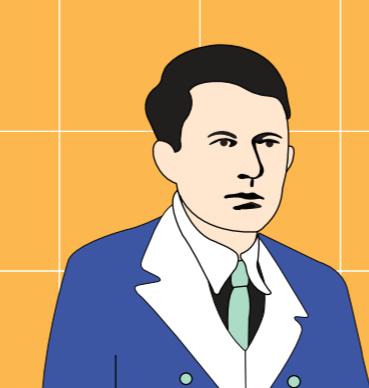
エドムンダス・アルフォンサンサ ・フリーカス 1876~1944年

革新的機能主義を唱えた彼はスモレンスクで生まれ、二十歳でカウナスに拠点を移しました。建築の構法に注力する一方で、内装のデザインにも興味を持っていました。戦後はドイツのバルティック大学で教鞭をとりました。



アルナス・フンカス 1898~1957年

リトアニアで最も名のある名家出身で100歳まで生きたこの人物について語るなら、彼が残した豊かな遺産だけではなく、その華やかな伝記についても触れなければなりません。彼は1904年にロシアからリトアニアへやってきました。リガ、カウナス、ローマで学んだ後、リトアニアの自由闇争の志願兵として、また暫定政府の大臣として働く機会を得ました。その後、ドイツ、さらにはオーストリアへ移り、1959年にふたたびリトアニアに戻り、建築家として数十年活動しました。



ヴィータウタス・ランズベルギス＝ ジェムカルニス 1893~1993年

リトアニアで最も名のある名家出身で100歳まで生きたこの人物について語るなら、彼が残した豊かな遺産だけではなく、その華やかな伝記についても触れなければなりません。彼は1904年にロシアからリトアニアへやってきました。リガ、カウナス、ローマで学んだ後、リトアニアの自由闇争の志願兵として、また暫定政府の大臣として働く機会を得ました。その後、ドイツ、さらにはオーストリアへ移り、1959年にふたたびリトアニアに戻り、建築家として数十年活動しました。



はじめまして。

ユネスコデザイン都市・カウナスへようこそ！カウナスは、第一共和国時代に首都と呼ばれました。1919年から1940年の間、カウナスはヴィリニュスに代わって一時的な首都となりましたが、その時代がなければ今のカウナスは存在していなかったでしょう。カウナスはロシア行政下の小さな町から、ヨーロッパ水準を満たす首都へと、突如変身しなければなりませんでした。そのためには、とにかくスピードが必要でした。金銭的な投資や一致団結も必要でした。しかし何よりも信じることが大切でした。色々な理由で、仕事や勉強のために海外で生活していた専門家たちがカウナスに集められ、地域住民や実業家、そして政治家たちと互いに協力し合いました。都市の近代的かつモダニズム的な中心部と、オフィス、病院、学校、住宅、工場などの工業建築物が、一晩のうちに…、ということはさすがにありませんでしたが、かなりの速さで出来上がっていました。2022年に欧州文化都市となるカウナスは、目の前に広がる景色の裏に隠された歴史という部分に焦点を当てています。この『モダニスト・ガイド』は皆さんより簡単にその知識に触れられるように、そしてその先へと導くための存在です。さて、欧州遺産ラベルの付いた建物のうちいくつかは無人だったり状態が良くないということにお気づきかもしれません。その場合は中にお入りいただけませんが、代わりに新しく塗りなおされたファサード（建物の正面部分）をお楽しみいただけます。多様性溢れるカウナス。この都市が持つその様々な顔のすべてを知らずして街歩きはできません。楽しいカウナスめぐりを！

